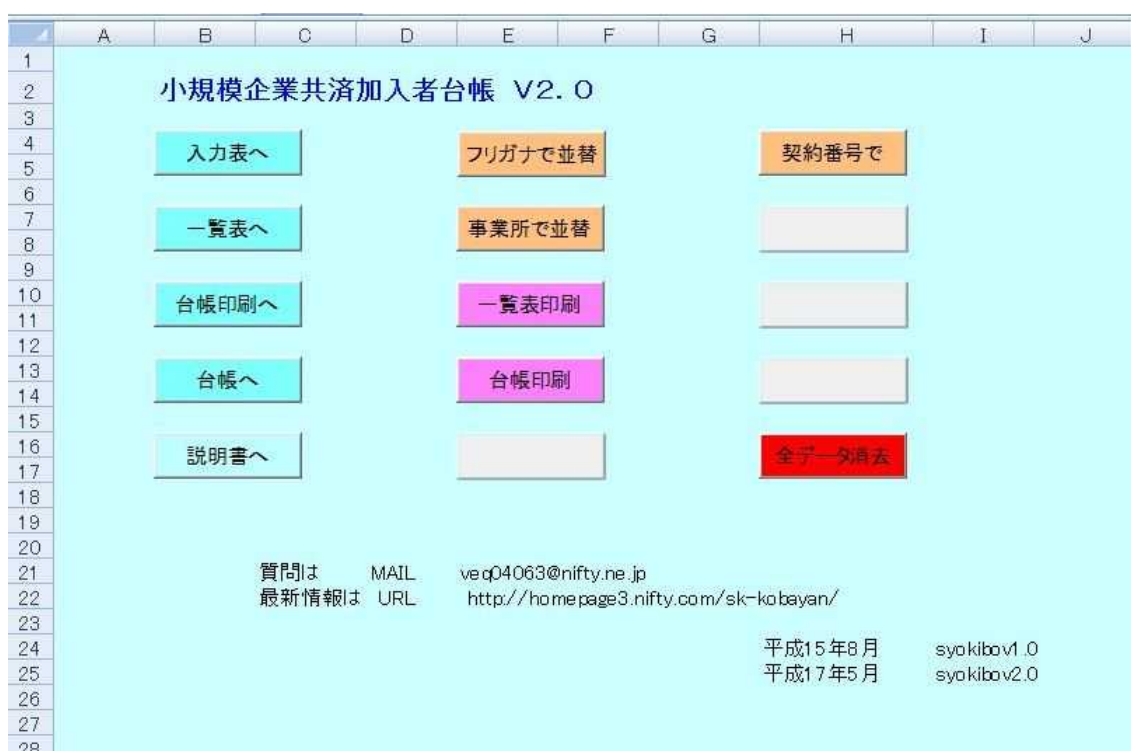


# 小規模企業共済加入者台帳プログラム

V 3 0



平成21年3月

小林誠一郎

## 小規模企業共済加入者台帳

### .構成シート

- 1.M E N U            トップ画面です。
- 2.入力表            基本画面です。
- 3.台帳              データが格納されるシートです。
- 4.台帳印刷        A 4 一枚に 2 事業所分が印刷されます。
- 5.一覧表            加入者名簿の一覧表です。一枚に 100 件分が掲載されます。
- 6.説明書            このシートです。

### .M E N U

- 1.フリガナで並べ替え 事業団から送られてくるデータもフリガナ順ですから、これで整理したあとで、突合せをすると良いと思います。
- 2.事業所で並べ替え 事業所コード、加入年月日、生年月日 で行います。加入件数把握はこれを活用します。事業所名称ではないので、ご注意ください。
- 3.一覧表印刷            加盟者一覧表です。全事業所分印刷します。
- 4.台帳印刷            加入者全員が一括で、印刷されます。
- 5.契約番号で（並べ替え） 契約者番号で並べ替えをします。

その他、空いているボタンは、  
機能を付け加えたりしたときなど、利用してください。

### .入力表

1. 呼込            すでにあるデータを修正するときに利用。 確認番号欄にある数値のデータを画面上に呼び出します。 データ追加や修正などしたあと、書込ボタンで登録します。
- 2.書込            画面上にあるデータを確認番号にある位置に登録します。新規データの追加は新しい番号で入力したあと書込ボタンで登録してください。
- 3.印刷            この画面を印刷します。一事業所分のデータを印刷するときに利用します。プレビュー画面からの印刷としています。
- 4.クリア        画面上のデータを消したいときに利用します。
- 5.消去            脱退、請求等で加入件数に数えないデータを消去します。呼び出した上で、確認後、よければ、消去ボタンで消えます。あとにはもどれません。 年度末に利用してください。但し、年度途中でもデータをここから印刷したあと、抹消してもかまいません。

.台帳            すべてのデータはこのシートにあります。

.台帳印刷        A 4 一枚に 2 事業所分が印刷されます。

個別でのものが必要なときにここから印刷します。

- 1.呼出 確認番号 欄にある数値のデータを画面上に呼び出します。  
2 事業所分です。
- 2.印刷 この画面を印刷します。印刷後は画面がクリアされます。
- 3.クリア 画面上のデータを消したいときに利用します。  
.一覧表 加盟者一覧表です。
- 1.印刷 この画面を印刷します。

加入件数、加入事業者について、

メニュー 事業所で並べ替えをしたあと一覧表を印刷します。

4 列目が事業所の通し番号になります。画面上での確認もできます。

フリガナでの並べ替えをしているときには、この4列目は意味がないです。(-\_-)

#### データの整理

-----  
通常は、フリガナ順で台帳を整理印刷するものとします。この台帳の印刷は最初の利用時に、全部一括に行うこととします。A4に2事業所分です。半分に切って台帳に順番につづっておきます。印字位置はパソコン、プリンタの種類で微妙に変わります。台帳、一覧表とも連続印刷する前に、一枚印刷で試してください。プレビュー画面の余白の設定でちょうど良い位置を設定してください。

新規加入があった場合入力表で、一番最後の番号で入力します。書き込み前に印刷をします。フリガナ順で並べ替えをします。一覧表を印刷します。印刷物を台帳のその位置につづりこみます。

増減額があった場合、入力表で呼び込み、状況を入力をして、印刷します。書き込みをします。印刷物を台帳の前のもので交換します。

脱退、請求があった場合入力呼び込み、顛末を入力して、印刷をします。データの消去を行います。印刷物を台帳の前のもので交換します。

手書きの作業を印字しているだけではないか。そのとおり。(^.^)。但し、加入者の状況や加入事業所の件数がいつでもすぐに把握できます。それから、色々なデータを台帳から加工してつくることができます。元の台帳は変更することなく、シートのコピーを行い、出来たシートを加工して、作業を行ってください。

標準版システムから 各種 CVS データが取り出せますので、それと組み合わせて利用すれば良いと思います。データ件数は 1000 件までです。台帳のデータの並びは次のとおりです。

B	D	F	H	I	K
氏名	フリガナ	住所	契約者番号	生年月日	事業所名
M	O	P	Q	Y	AG
事業所コード	銀行	口座	契約年月日	契約金額	変更後掛金
AO	AW	BE	BF	BG	
脱退年月日	備考	区切り	checkNO	現在の掛金	
BH	BI				

BF 列は同一事業所チェックのための式 (M 列でチェック) が入力されています。  
 BG 列は Y 列から AE 列までの合計の式 (現在の掛け金になります) が入力されています。

B4 から BI1003 列までを並べ替えの対象範囲にしています。  
 BH 列や BI 列を何かに利用してもいいと思います。

平成 15 年 8 月 10 日  
 山川町商工会  
 小林誠一郎

BH 列に電話番号を入れることにしました。

平成 17 年 5 月 17 日

説明書を作成した時に判明した不要な範囲名の削除。  
 モジュールの名前が、プロシージャとして使用されていたのでモジュール名を変更した。(全消去 > 全消去マクロ)  
 書込の時に、確認番号のチェックを追加した。  
 「台帳印刷」のセル E32 の式修正 =IF(E4="", "", E4+1) を  
 =IF(E4="", 0, E4+1) にした。

平成 21 年 3 月 16 日

データ入力画面 「入力表」

小規模企業共済台帳	確認番号			
氏名		生年月日		65歳到達時は
フリガナ(全角)		事業所名		
住所		コード、電話		
契約者番号		銀行、口座		

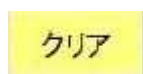
契約年月日 (取扱年月日)	掛金月額 (増減額)	変更後の 掛金月額	脱退解約 年月日	備考
				
				
				
				
				
				
				
				



この色のセルは必須入力です。



確認番号ですべてのデータを管理します。



このボタンは入力したデータを全て消去します。

```
Private Sub CommandButton4_Click()
```

```
クリア 1
```

```
End Sub
```

```
Sub クリア 1()
```

```
    ' 入力表のデータを消去する
```

```
        Range("A1").Select
```


```
        ActiveSheet.Unprotect
```

```

Range("C4:C10,E2,E4:E10,F8:F10,B14:F21").Select
Selection.ClearContents
ActiveSheet.Protect
Range("A1").Select
End Sub

```

色がついているセルが対象になります。(セルF 6を除く)。  
セルF 6は生年月日(セルE 4)から導かれる、65歳到達時の年月日を表示します。  
=IF(E4="", "", E4+DATE(65,1,-1))

 このボタンは入力したデータを台帳に登録します。  
書き込んだ後はデータは消去されます。

```

Private Sub CommandButton2_Click()
確認 1
End Sub

```

```

Sub 確認 1()
' データ転記まえに必要な最低限の入力があるかどうかチェック
' 追加記録日 : 2003/7/30   1-ザ 名 : 山川町商工会
'     修正     2005/5/17
'2009/3   追加
    Dim 位置 As Integer
    位置 = Sheets("入力表").Cells(2, 5).Value + 3
    If 位置 - 3 <= 0 Or 位置 - 3 >= 1001 Then '1000 行分です。
        MsgBox "この行には書込みできません", 0 + 48, "確認"
    End If

```

```

'2009/3   追加ここまで
    Dim 存在 As Integer          変数宣言 存在を整数
    存在 = Cells(1, 5).Value     セルE 1でチェック
    If 存在 = 1 Then
        'セルをチェック(C4="",C6="",C8="",C10="",E4="",E6="",E8="",E10="",B14="",C14="")
        '上記セルにすべて入力がないといけない。
        If MsgBox(prompt:="上書き保存です。間違っ書き込みをしても、チェックできません。" & Chr(13) & "新規に書き込む場合は 番号に 十分注意してください。(^.^)", _
            Title:="間違いないですか。(^.^)", Buttons:=vbOKCancel) = vbCancel Then
            Exit Sub          キャンセルならば作業は終了
        End If
    End If

```

End If

書込

書込マクロの実行へ

Else

MsgBox "データが完全ではありませんよ。"

End If

End Sub

存在と名付けた変数にセル E 1 の内容を取り入れます。

セル E 1 にある計算式

=IF(OR(C4="",C6="",C8="",C10="",E4="",E6="",E8="",E10="",B14="",C14=""),0,1)

括弧内のセルのどれかが空白であればセル E 1 は 0 となる。括弧内のセル全てにデータがあればセル E 1 は 1 となる。

存在が 1 の場合、作業継続の確認があり良ければ実行、キャンセルならば作業は終了。

存在が 1 でなければ、"データが完全ではありませんよ。"のメッセージで終了。

存在が 1 の場合で、実行されるのは次のマクロです。

Sub 書込()

' 入力表のデータを台帳に転記する

' 宛記録日 : 2003/7/30 ユーザ名 : 山川町商工会

Application.ScreenUpdating = False

動きを止めます

Sheets("台帳").Select

台帳を選択します

Range("A1").Select

カーソルを A 1 に置く

ActiveSheet.Unprotect

シート保護の解除をします

Sheets("入力表").Select

入力表を選択します

Dim 位置 As Integer

変数宣言 位置は整数

位置 = Sheets("入力表").Cells(2, 5).Value + 3

セル E 2 の値に 3 を加えた数値を位置に代入します。(確認番号 + 3)

'氏名、ふりがな、住所、契約者番号(形式選択。値、行列を入れ替え)

Sheets("入力表").Select

入力表を選択します

Range("C4:C10").Select

氏名、ふりがな、住所、契約者番号

Selection.Copy

選択した範囲をコピーします

Sheets("台帳").Select

台帳を選択します

Cells(位置, 2).Select

貼付位置の先頭セルを選択します B 列位置行

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_

False, Transpose:=True

形式を選択して貼り付け 値のみ 行列を入れ替え

'生年月日、事業所名、事業所コード、振替銀行、口座（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("入力表").Select 入力表を選択します  
Range("E4:E10").Select 生年月日、事業所名、事業所コード、振替銀行、口座  
Application.CutCopyMode = False コピーモード解除  
Selection.Copy 選択した範囲をコピーします  
Sheets("台帳").Select 台帳を選択します  
Cells(位置, 9).Select 貼付位置の先頭セルを選択します I列位置行  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True 形式を選択して貼り付け 値のみ 行列を入れ替え

'口座番号

Sheets("入力表").Select 入力表を選択します  
Range("F10").Select 口座番号  
Application.CutCopyMode = False コピーモード解除  
Selection.Copy 選択した範囲をコピーします  
Sheets("台帳").Select 台帳を選択します  
Cells(位置, 16).Select 貼付位置の先頭セルを選択します P列位置行  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=False 形式を選択して貼り付け 値のみ

'契約年月日（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("入力表").Select 入力表を選択します  
Range("B14:B21").Select 契約年月日  
Application.CutCopyMode = False コピーモード解除  
Selection.Copy 選択した範囲をコピーします  
Sheets("台帳").Select 台帳を選択します  
Cells(位置, 17).Select 貼付位置の先頭セルを選択します Q列位置行  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True 形式を選択して貼り付け 値のみ 行列を入れ替え

'契約金額（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("入力表").Select 入力表を選択します  
Range("C14:C21").Select 契約金額  
Application.CutCopyMode = False コピーモード解除  
Selection.Copy 選択した範囲をコピーします  
Sheets("台帳").Select 台帳を選択します  
Cells(位置, 25).Select 貼付位置の先頭セルを選択します Y列位置行  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True 形式を選択して貼り付け 値のみ 行列を入れ替え



'変更後金額（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("入力表").Select 入力表を選択します  
Range("D14:D21").Select 変更後金額  
Application.CutCopyMode = False コピーモード解除  
Selection.Copy 選択した範囲をコピーします  
Sheets("台帳").Select 台帳を選択します  
Cells(位置, 33).Select 貼付位置の先頭セルを選択します AG列位置行  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True 形式を選択して貼り付け 値のみ 行列を入れ替え

'脱退年月日（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("入力表").Select 入力表を選択します  
Range("E14:E21").Select 脱退年月日  
Application.CutCopyMode = False コピーモード解除  
Selection.Copy 選択した範囲をコピーします  
Sheets("台帳").Select 台帳を選択します  
Cells(位置, 41).Select 貼付位置の先頭セルを選択します AO列位置行  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True 形式を選択して貼り付け 値のみ 行列を入れ替え

'備考（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("入力表").Select 入力表を選択します  
Range("F14:F21").Select 備考  
Application.CutCopyMode = False コピーモード解除  
Selection.Copy 選択した範囲をコピーします  
Sheets("台帳").Select 台帳を選択します  
Cells(位置, 49).Select 貼付位置の先頭セルを選択します AW列位置行  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True 形式を選択して貼り付け 値のみ 行列を入れ替え

'電話番号 修正追加分

Sheets("入力表").Select 入力表を選択します  
Range("F8").Select 電話番号  
Application.CutCopyMode = False コピーモード解除  
Selection.Copy 選択した範囲をコピーします  
Sheets("台帳").Select 台帳を選択します  
Cells(位置, 60).Select 貼付位置の先頭セルを選択します BH列位置行  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=False 形式を選択して貼り付け 値のみ

```

ActiveSheet.Protect          シートの保護をする
Application.Goto reference:=Range("A1"), Scroll:=True
                               左隅がセルA 1 になるように画面を移動する
'元に戻る
Sheets("入力表").Select      入力表を選択します
Application.CutCopyMode = True
ActiveSheet.Unprotect        シートの保護解除
Range("C4:C10,E2,E4:E10,F8:F10,B14:F21").Select  入力部分の選択
Selection.ClearContents     選択範囲の内容を消去する
ActiveSheet.Protect          シートの保護をする
Range("A1").Select          カーソルをセルA 1 に置く
MsgBox "書き込み終了"      メッセージの表示
End Sub

```

入力表に入力したデータは確認番号に応じた行に登録されたあと、消去されます。マクロの自動記録によって作成したものを修正しています。コピー＆ペーストの繰り返しで、先頭行の書き方と行列を入れ替えているのが一つの工夫でしょうか。逆の作業が次です。

V 2 0 では呼出には数値チェックがあるが、書込には数値チェックがなかった。1000 以上の数値でも書込します。呼出もできないし、消去もできない。これはまずいので修正した。

**呼出** このボタンは登録したデータを入力表に呼出します。  
確認番号は 1 から 1 0 0 0 まで。

```

Private Sub CommandButton1_Click()
確認 2
End Sub

```

Sub 確認 2()

' 呼び出し範囲を限定する

' マクロ記録日 : 2003/7/30 1-ザ' -名 : 山川町商工会

Application.ScreenUpdating = False 画面の動きを表示しない

' Sheets("入力表").Select 入力表にいたので注釈です

Dim 位置 As Integer 変数宣言 位置は整数

位置 = Sheets("入力表").Cells(2, 5).Value + 3

セルE 2 の値に 3 を加えた数値を位置に代入します。( 確認番号 + 3 )

Sheets("台帳").Select 台帳を選択します

```

If 位置 - 3 <= 0 Or 位置 - 3 >= 1001 Then '1000 行分です。
    MsgBox "この行は呼び出しできません", 0 + 48, "確認"    OKだけです
    Sheets("入力表").Select    台帳から入力表に戻るようになります
    Range("A1").Select
Else
    呼出    呼出マクロの実行へ
End If
Application.ScreenUpdating = False    作業終了後 画面の動きを表示する
End Sub

```

確認番号が 1 から 1 0 0 0 までの間は呼出作業をしますが、それ以外は元に戻る。  
書込と反対の作業。マクロの自働記録の修正です。

Range(Cells(位置, 2), Cells(位置, 8)).Select などの書き方がポイントです。

Sub 呼出()

```

' 台帳のデータを入力表に転記する
' マカ記録日 : 2003/7/30   ヲザ - 名 : 山川町商工会
Application.ScreenUpdating = False
Sheets("入力表").Select
Range("A1").Select
ActiveSheet.Unprotect
Dim 位置 As Integer    変数宣言 位置を整数
位置 = Sheets("入力表").Cells(2, 5).Value + 3    セル E 2 (確認番号) + 3 を代入
'入力範囲クリア
Range("C4:C10,E4:E10,F10,B14:F21").Select    呼出先をきれいにして置く
Selection.ClearContents
'氏名、ふりがな、住所、契約者番号 (形式選択。値、行列を入れ替え)
Sheets("台帳").Select    1 回目
Range(Cells(位置, 2), Cells(位置, 8)).Select    B 列から H 列まで
Selection.Copy
Sheets("入力表").Select
Range("C4").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _

```

```

False, Transpose:=True
'生年月日、事業所名、事業所コード、振替銀行、口座（形式選択。値、行列を入れ替え）
Sheets("台帳").Select 2回目
Range(Cells(位置, 9), Cells(位置, 15)).Select I列からO列まで
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("入力表").Select
Range("E4").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
False, Transpose:=True
'口座番号
Sheets("台帳").Select 3回目
Range(Cells(位置, 16), Cells(位置, 16)).Select P列
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("入力表").Select
Range("F10").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
False, Transpose:=False
'契約年月日（形式選択。値、行列を入れ替え）
Sheets("台帳").Select 4回目
Range(Cells(位置, 17), Cells(位置, 24)).Select Q列からX列まで
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("入力表").Select
Range("B14").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
False, Transpose:=True
'契約金額（形式選択。値、行列を入れ替え）
Sheets("台帳").Select 5回目
ActiveWindow.SmallScroll ToRight:=9
Range(Cells(位置, 25), Cells(位置, 32)).Select Y列からAF列まで
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("入力表").Select
Range("C14").Select

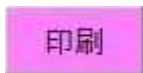
```

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
 False, Transpose:=True  
 '変更後金額（形式選択。値、行列を入れ替え）  
 Sheets("台帳").Select 6回目  
 Range(Cells(位置, 33), Cells(位置, 40)).Select A G列から A N列まで  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("入力表").Select  
 Range("D14").Select  
 Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
 False, Transpose:=True  
 '脱退年月日（形式選択。値、行列を入れ替え）  
 Sheets("台帳").Select 7回目  
 Range(Cells(位置, 41), Cells(位置, 48)).Select A O列から A V列まで  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("入力表").Select  
 Range("E14").Select  
 Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
 False, Transpose:=True  
 '備考（形式選択。値、行列を入れ替え）  
 Sheets("台帳").Select 8回目  
 Range(Cells(位置, 49), Cells(位置, 56)).Select A W列から B D列まで  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("入力表").Select  
 Range("F14").Select  
 Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
 False, Transpose:=True  
 '電話番号 修正追加分  
 Sheets("台帳").Select 9回目  
 Range(Cells(位置, 60), Cells(位置, 60)).Select B H列  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("入力表").Select  
 Range("F8").Select

```

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=False
Range("A1").Select
'元に戻す          作業終了後の後始末
Sheets("台帳").Select
Range("A1").Select
Application.CutCopyMode = False
'元に戻す
Sheets("入力表").Select
ActiveSheet.Protect
Range("A1").Select
Application.ScreenUpdating = True
MsgBox "呼び出し終了"
End Sub

```



このボタンは「入力表」を印刷します。

```

Private Sub CommandButton3_Click()
印刷 1
End Sub

```

Sub 印刷 1()

' マクロ記録日 : 2003/8/2 ユーザー名 :

'確認番号 印刷時は非表示とする。

```

Range("A1").Select
ActiveSheet.Unprotect
Range("D2:E2").Select          セルD 2 と E 2 を選択
Range("D2").Activate
Selection.NumberFormatLocal = ";;;"          表示形式を非表示にする
Range("A1").Select
ActiveWindow.SelectedSheets.PrintPreview          プレビュー印刷です
Range("D2:E2").Select          セルD 2 と E 2 を選択
Range("D2").Activate
Selection.NumberFormatLocal = "G/標準"          印刷後は元に戻して置く
ActiveSheet.Protect

```

```
Range("A1").Select
End Sub
```

マクロの自働記録で作成。



このボタンは「台帳」にある確認番号のデータを消去します。  
解約や請求で不用になったデータの消去で、その後並べ替えをします。  
データが一行削除されたことと同等です。年度の最後に使用するつもりです。

```
Private Sub CommandButton5_Click()
消去
クリア 1
End Sub
```

目的の行を消去して、並べ替えをして、一番最初に説明したクリアをします。  
呼出作業と同様のチェックがあります。

```
Sub 消去()
```

'「台帳」のデータを消去します。

```
Application.ScreenUpdating = False
```

```
' Sheets("入力表").Select
```

```
Dim 位置 As Integer
```

```
位置 = Sheets("入力表").Cells(2, 5).Value + 3      セルE 2 (確認番号) + 3
```

```
Sheets("台帳").Select
```

```
If 位置 - 3 <= 0 Or 位置 - 3 >= 1001 Then '1000 行分です。呼出と同じチェックです
```

```
MsgBox "この行は消去できません", 0 + 48, "確認"
```

```
Sheets("入力表").Select
```

```
Range("A1").Select
```

```
Else
```

```
MsgBox 位置 - 3 & "番目の加入者のデータの消去です。"      確認メッセージ
```

```
Dim ans As String      変数宣言      ans      文字列です
```

```
ans = MsgBox("本当に消去していいですか?", vbOKCancel, "消去の確認")
```

```
If ans = vbOK Then      2 度目の確認でOKなら実行
```

```
ActiveSheet.Unprotect
```

```
Range("B" & 位置 & ":BD" & 位置).Select      '選択
```

```
Selection.ClearContents      範囲クリア
```

```
Range("BH" & 位置 & ":BH" & 位置).Select      '選択
```

```

Selection.ClearContents           '範囲クリア
ActiveSheet.Protect
整列 D3                           '消去したあと並べ替え マクロの実行へ
Range("A1").Select
End If                             'キャンセルならここです
Sheets("入力表").Select
Range("A1").Select
End If
Application.ScreenUpdating = False
End Sub

```

B E , B F , B G 列は消去しません。ここには計算式があります。  
 詳細は後述の「台帳」の説明に譲ります。  
 一行のデータを消去したあとは、フリガナ列でアイウエオ順で並べ替えをします。

マクロの自働記録で作成。

```

Sub 整列 D3()
'フリガナ
' マクロ記録日 : 2003/7/31 ユーザ名 : 山川町商工会
  Sheets("台帳").Select
  Range("A1").Select
  ActiveSheet.Unprotect           'シート保護の解除
  Range("B3:BI1003").Select
  Range("BI1003").Activate
  Selection.Sort Key1:=Range("D3"), Order1:=xlAscending, Header:=xlNo, _
    OrderCustom:=1, MatchCase:=False, Orientation:=xlTopToBottom, SortMethod _
    :=xlPinYin
  Range("A1").Select
  Sheets("台帳").Range("A3").Value = 0 'フリガナで並べ替えの記録をセルA 3に
  ActiveSheet.Protect           'シート保護の設定
End Sub

```

先に説明したものです。

```

Sub クリア 1()
' 入力表のデータを消去する

```



```

Range("A1").Select
ActiveSheet.Unprotect
Range("C4:C10,E2,E4:E10,F8:F10,B14:F21").Select
Selection.ClearContents
ActiveSheet.Protect
Range("A1").Select
End Sub

```

表から表への移動マクロ

MENUへ	<pre> Private Sub CommandButton6_Click() Sheets("MENU").Select End Sub </pre>
入力表へ	<pre> Private Sub CommandButton1_Click() Sheets("入力表").Select End Sub </pre>
一覧表へ	<pre> Private Sub CommandButton2_Click() Sheets("一覧表").Select End Sub </pre>
台帳印刷へ	<pre> Private Sub CommandButton3_Click() Sheets("台帳印刷").Select End Sub </pre>
台帳へ	<pre> Private Sub CommandButton4_Click() Sheets("台帳").Select End Sub </pre>
説明書へ	<pre> Private Sub CommandButton5_Click() Sheets("説明書").Select End Sub </pre>

台帳の並べ替えは3種類あります。フリガナ（D列）事業所（M列）契約番号（H列）加入率把握のための加入事業所の件数は事業所コードで並べ替えをしたものから。事業団からの書類との照合には契約番号での並べ替えをしたものから。並べ替えをしたものは、一覧表で印刷をすることが出来ます。

**フリガナで並替**

このボタンは「台帳」にあるデータをフリガナ（D列）で並べ替えをします。

```
Private Sub CommandButton6_Click()
```

```
    整列 D3
```

```
End Sub
```

**事業所で並替**

このボタンは「台帳」にあるデータを事業所コード（M列）で並べ替えをします。

```
Private Sub CommandButton7_Click()
```

```
    整列 M3
```

```
End Sub
```

**契約番号で**

このボタンは「台帳」にあるデータを契約番号（H列）で並べ替えをします。

```
Private Sub CommandButton11_Click()
```

```
    整列 H3
```

```
End Sub
```

上のマクロの実際の作業は次のものです。

フリガナで並べ替えは「入力表」での消去の際に実行されるものと同じです。

```
Sub 整列 D3()
```

```
'フリガナ
```

```
'マクロ記録日：2003/7/31 ユーザー名：山川町商工会
```

```
    Sheets("台帳").Select
```

```
    Range("A1").Select
```

```
    ActiveSheet.Unprotect
```

```
    Range("B3:BI1003").Select
```

```
    Range("BI1003").Activate
```

```
    Selection.Sort Key1:=Range("D3"), Order1:=xlAscending, Header:=xlNo, _
```

```
        OrderCustom:=1, MatchCase:=False, Orientation:=xlTopToBottom, SortMethod _  
        :=xlPinYin
```

```
    Range("A1").Select
```

```
    Sheets("台帳").Range("A3").Value = 0 'フリガナで並べ替えの記録をセルA3に
```

```
    ActiveSheet.Protect
```

```
End Sub
```

```
Sub 整列 H3()
```

```
'契約書番号
```

```

' マカ記録日 : 2003/7/31   ヲザ` -名 : 山川町商工会
  Sheets("台帳").Select
  Range("A1").Select
  ActiveSheet.Unprotect
  Range("B3:BI1003").Select
  Range("BI1003").Activate
  Selection.Sort Key1:=Range("H3"), Order1:=xlAscending, Header:=xlNo, _
    OrderCustom:=1, MatchCase:=False, Orientation:=xlTopToBottom, SortMethod _
    :=xlPinYin
  Range("A1").Select
  Sheets("台帳").Range("A3").Value = 2   ' 契約者番号で並べ替えの記録をセルA 3 に
  ActiveSheet.Protect
End Sub

```

Sub 整列 M3()

' 事業所コード、加入年月日、生年月日

```

' マカ記録日 : 2003/7/31   ヲザ` -名 : 山川町商工会
  Sheets("台帳").Select
  Range("A1").Select
  ActiveSheet.Unprotect
  Range("B3:BI1003").Select
  Range("BI1003").Activate
  Selection.Sort Key1:=Range("M3"), Order1:=xlAscending, Key2:=Range("Q3") _
    , Order2:=xlAscending, Key3:=Range("I3"), Order3:=xlAscending, Header:= _
    xlNo, OrderCustom:=1, MatchCase:=False, Orientation:=xlTopToBottom, _
    SortMethod:=xlPinYin
  Range("A1").Select
  Sheets("台帳").Range("A3").Value = 1
    ' 事業所コード、契約年月日、生年月日で並べ替えの記録をセルA 3 に
  ActiveSheet.Protect
End Sub

```

並べ替え後には「台帳」のセルA 3 には並べ替えの種類に応じて 0 1 2 のいずれかが入ります。印刷するときのチェックに利用しています。

データ保存画面「台帳」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	MENUへ									
2	氏名		フリガナ		住所		契約者番号		生年月日	
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	1	小林1		コバヤシ1		山川町成川1-1		3234567-		11167
5	2	小林10		コバヤシ10		山川町成川1-10		3234567-		12873
6	3	小林100		コバヤシ100		山川町成川1-100		2234567-		15797
7	4	小林101		コバヤシ101		山川町成川1-101		3234567-		24595
8	5	小林102		コバヤシ102		山川町成川1-102		1234567-		15195
9	6	小林103		コバヤシ103		山川町成川1-103		3234567-		12314
10	7	小林104		コバヤシ104		山川町成川1-104		1234567-		20169
11	8	小林105		コバヤシ105		山川町成川1-105		1234567-		21537
12	9	小林106		コバヤシ106		山川町成川1-106		2234567-		17948
13	10	小林107		コバヤシ107		山川町成川1-107		3234567-		22592
14	11	小林108		コバヤシ108		山川町成川1-108		2234567-		19668
15	12	小林109		コバヤシ109		山川町成川1-109		3234567-		17164
16	13	小林11		コバヤシ11		山川町成川1-11		2234567-		14025
17	14	小林110		コバヤシ110		山川町成川1-110		1234567-		24514
18	15	小林111		コバヤシ111		山川町成川1-111		3234567-		23613
19	16	小林112		コバヤシ112		山川町成川1-112		1234567-		18036
20	17	小林113		コバヤシ113		山川町成川1-113		3234567-		21480
21	18	小林114		コバヤシ114		山川町成川1-114		1234567-		24199
22	19	小林115		コバヤシ115		山川町成川1-115		1234567-		24829
23	20	小林116		コバヤシ116		山川町成川1-116		2234567-		18301
24	21	小林117		コバヤシ117		山川町成川1-117		2234567-		14388
25	22	小林118		コバヤシ118		山川町成川1-118		1234567-		14925
26	23	小林119		コバヤシ119		山川町成川1-119		2234567-		22617
27	24	小林12		コバヤシ12		山川町成川1-12		3234567-		13723
28	25	小林120		コバヤシ120		山川町成川1-120		2234567-		12538
29	26	小林121		コバヤシ121		山川町成川1-121		3234567-		13480

- セルA 3            0    フリガナで並べ替え  
                      1    事業所コード、契約年月日、生年月日で並べ替え  
                      2    契約者番号で並べ替え

B E 列            区切り            4行目から1003行目まで    全て    1    です。

B F 列            checkNO        =IF(M4=M3,BF3,BF3+1)

B G 列            現在の掛金      =SUM(Y4:AE4)

B F 列は M 列（事業所コード）で上と同じ番号ならば同じ数値、違うならば1増加した数値。事業所コード順に並べ替えをした時に加入事業所の件数が把握でき、地区内加入率の算定に利用するためのもの。

B G 列は増減額の結果の現在の掛け金が表示される。

次はMENU画面からの印刷です。

#### 一覧表印刷

```
Private Sub CommandButton8_Click()  
    印刷一覧表  
End Sub
```

3種類の一覧表印刷が出来ることになります。

#### 台帳印刷

```
Private Sub CommandButton9_Click()  
    印刷台帳連続  
End Sub
```

保存台帳の印刷です。このファイルを利用した時に、フリガナで並べ替えした後、初めての台帳印刷を行うものです。その後は、変更追加で、個別印刷で対応します。

「一覧表」のセルC1 =COUNTA(台帳!B4:B1003)

「台帳」のB列をカウントします。実際のデータ件数を示します。

セルD1 =ROUNDUP(C1/100,0)

この一覧表は NO、氏名、事業所名、数、を50件を左右に1ページが100件になります。セルC1の値を100で割った値を切り上げると一覧表の印刷枚数になります。

Sub 印刷一覧表()

'メニュー画面から 一覧表の印刷をする

Dim 組 As Integer 印刷カウント用変数

Dim 枚 As Integer 印刷枚数用変数

Application.ScreenUpdating = False

Sheets("一覧表").Select

Range("A1").Select

ActiveSheet.Unprotect

枚 = Cells(1, 4).Value

If MsgBox(prompt:="準備はいいですか。用紙は "& 枚 & " 枚が必要です。準備がよければ" & Chr(13) & "印刷してください。(^.^)", \_

Title:="OK!(^.^)", Buttons:=vbYesNo) = vbNo Then

```

Sheets("MENU").Select
Range("A1").Select
Application.ScreenUpdating = True
Exit Sub
Else
'事業所順で並べ替えをしている場合は、E列 J列を表示したままです。
フリガナでの並べ替えに通し番号は意味がないので非表示にすることで
If Sheets("台帳").Range("A3").Value = 0 Then
    'フリガナで並べ替えている時は非表示にする
    Range("E5:E54,J5:J54").Select
    Selection.NumberFormatLocal = ";;;"
    Range("A1").Select
End If
For 組 = 1 To 枚
    '繰り返し開始
    Range("H2").Select
    'セルH2を変えると一覧表が変わる
    ActiveCell.FormulaR1C1 = 組
    Range("H2").Select
    ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1 '印刷
Next 組
'繰り返し終了
'フリガナで並べ替えている時は非表示にしたものを表示にもどす
If Sheets("台帳").Range("A3").Value = 0 Then
    'フリガナで並べ替えている時は表示にする
    Range("E5:E54,J5:J54").Select
    Selection.NumberFormatLocal = "G/標準"
    Range("A1").Select
End If
Cells(2, 8).Value = 1
'セルH2の数値を1にする
ActiveSheet.Protect
Range("A1").Select
Sheets("MENU").Select
Application.ScreenUpdating = True
End If
End Sub

```

「一覧表」には計算式が埋め込んであります。セルH 2の数値でページが変わるようにINDIRECT 関数を利用しています。

A	B	C
4	NO	氏名
5	=INDIRECT("台帳!A"&4+100*(\$H\$2-1))	=T(INDIRECT("台帳!B"&4+100*(\$H\$2-1)))
6	=INDIRECT("台帳!A"&5+100*(\$H\$2-1))	=T(INDIRECT("台帳!B"&5+100*(\$H\$2-1)))

D	E
事業所名	
=T(INDIRECT("台帳!K"&4+100*(\$H\$2-1)))	=IF(INDIRECT("台帳!BF"&4+100*(\$H\$2-1))=INDIRECT("台帳!BF"&3+100*(\$H\$2-1)),",",INDIRECT("台帳!BF"&4+100*(\$H\$2-1)))
=T(INDIRECT("台帳!K"&5+100*(\$H\$2-1)))	=IF(INDIRECT("台帳!BF"&5+100*(\$H\$2-1))=INDIRECT("台帳!BF"&4+100*(\$H\$2-1)),",",INDIRECT("台帳!BF"&5+100*(\$H\$2-1)))

F	G	H
4	NO	氏名
5	=INDIRECT("台帳!A"&54+100*(\$H\$2-1))	=T(INDIRECT("台帳!B"&54+100*(\$H\$2-1)))
6	=INDIRECT("台帳!A"&55+100*(\$H\$2-1))	=T(INDIRECT("台帳!B"&55+100*(\$H\$2-1)))

I	J
事業所名	
=T(INDIRECT("台帳!K"&54+100*(\$H\$2-1)))	=IF(INDIRECT("台帳!BF"&54+100*(\$H\$2-1))=INDIRECT("台帳!BF"&53+100*(\$H\$2-1)),",",INDIRECT("台帳!BF"&54+100*(\$H\$2-1)))
=T(INDIRECT("台帳!K"&55+100*(\$H\$2-1)))	=IF(INDIRECT("台帳!BF"&55+100*(\$H\$2-1))=INDIRECT("台帳!BF"&54+100*(\$H\$2-1)),",",INDIRECT("台帳!BF"&55+100*(\$H\$2-1)))

**INDIRECT 関数** 指定される文字列への参照を返します。  
参照文字列によって指定されるセルに入力されている文字列を介して、間接的なセルの指定を行います。  
参照文字列で指定されるセル参照を返しますが、セル参照はすぐに計算され、結果としてセルの内容が表示されます。

INDIRECT 関数を使うと、数式自体を変更しないで、  
数式内で使用しているセル参照を変更することができます。

#### 書式

INDIRECT(参照文字列,参照形式)

**参照文字列** A1 形式、R1C1 形式の参照、参照として定義されている名前が入力されているセルへの参照、または文字列としてのセルへの参照を指定します。  
参照文字列に適切なセル参照を指定していないと、エラー値 #REF! が返されます。

**参照形式** 参照文字列で指定されたセルに含まれるセル参照の種類を、論理値で指定します。

参照形式に TRUE を指定するか省略すると、参照文字列には A1 形式のセル参照が入力されていると見なされます。

参照形式に FALSE を指定すると、参照文字列には R1C1 形式のセル参照が入力されていると見なされます。

このファイルで使用している INDIRECT 関数は参照形式を省略した形なので、A1 形式のセル参照を記入しています。

#### B 列 ( NO )

5 行目 =INDIRECT("台帳!A"&4+100\*(H\$2-1))

6 行目 =INDIRECT("台帳!A"&5+100\*(H\$2-1))

台帳の A 列が表示されます。セル H 2 が 1 の時は、 A 4      A 5      以下同様  
セル H 2 が 2 の時は、 A 1 0 4   A 1 0 5   以下同様

#### G 列 ( NO )

5 行目 =INDIRECT("台帳!A"&54+100\*(H\$2-1))

6 行目 =INDIRECT("台帳!A"&5+100\*(H\$2-1))

台帳の A 列が表示されます。セル H 2 が 1 の時は、 A 5 4      A 5 5      以下同様  
セル H 2 が 2 の時は、 A 1 5 4   A 1 5 5   以下同様

#### C 列 ( 氏名 )

5 行目 =T(INDIRECT("台帳!B"&4+100\*(H\$2-1)))



6 行目 =T(INDIRECT("台帳!B"&5+100\*(\$H\$2-1)))

台帳の B 列が表示されます。セル H 2 が 1 の時は、 B 4 B 5 以下同様

セル H 2 が 2 の時は、 B 1 0 4 B 1 0 5 以下同様

H 列 ( 氏名 )

5 行目 =T(INDIRECT("台帳!B"&54+100\*(\$H\$2-1)))

6 行目 =T(INDIRECT("台帳!B"&55+100\*(\$H\$2-1)))

台帳の B 列が表示されます。セル H 2 が 1 の時は、 B 5 4 B 5 5 以下同様

セル H 2 が 2 の時は、 B 1 5 4 B 1 5 5 以下同様

D 列 ( 事業所名 )

5 行目 =T(INDIRECT("台帳!K"&4+100\*(\$H\$2-1)))

6 行目 =T(INDIRECT("台帳!K"&5+100\*(\$H\$2-1)))

台帳の B 列が表示されます。セル H 2 が 1 の時は、 K 4 K 5 以下同様

セル H 2 が 2 の時は、 K 1 0 4 K 1 0 5 以下同様

I 列 ( 事業所名 )

5 行目 =T(INDIRECT("台帳!K"&54+100\*(\$H\$2-1)))

6 行目 =T(INDIRECT("台帳!K"&55+100\*(\$H\$2-1)))

台帳の B 列が表示されます。セル H 2 が 1 の時は、 K 5 4 K 5 5 以下同様

セル H 2 が 2 の時は、 K 1 5 4 K 1 5 5 以下同様

E 列 ( 通し番号が入ります。 B F 列の参照 )

5 行目 =IF(

INDIRECT("台帳!BF"&4+100\*(\$H\$2-1))=INDIRECT("台帳!BF"&3+100\*(\$H\$2-1)),"",

INDIRECT("台帳!BF"&4+100\*(\$H\$2-1))

)

6 行目 =IF(

INDIRECT("台帳!BF"&5+100\*(\$H\$2-1))=INDIRECT("台帳!BF"&4+100\*(\$H\$2-1)),"",

INDIRECT("台帳!BF"&5+100\*(\$H\$2-1))

)

B F 列のあるセルが自分のセルの上と同じ数値の場合は空白を表示し、  
違っている場合は、その自分の数値を表示します。

J 列 ( 通し番号が入ります。 B F 列の参照 )

5 行目 =IF(

INDIRECT("台帳!BF"&54+100\*(\$H\$2-1))=INDIRECT("台帳!BF"&53+100\*(\$H\$2-1)),"",

INDIRECT("台帳!BF"&54+100\*(\$H\$2-1))

)

```
6行目 =IF(
INDIRECT("台帳!BF"&55+100*($H$2-1))=INDIRECT("台帳!BF"&54+100*($H$2-1)),"",
INDIRECT("台帳!BF"&55+100*($H$2-1))
)
```

B F 列のあるセルが自分のセルの上と同じ数値の場合は空白を表示し、  
 違う場合は、その自分の数値を表示します。

INDIRECT 関数の入力方法は少し面倒ですね。普通にひとつのセルを作り、それをコピーしても通常のように相対参照での式が出来ません。別々のセルに文字列として入力し、&関数で文字列結合などして、ある列を完成させたら、その列をコピーしたあとで、文字列の置換作業で計算式の修正を行うなどしたらいいのではないかと思います。

「台帳印刷」のセル C 1        =COUNTA(台帳!B4:B1003)

「台帳」の B 列をカウントします。実際のデータ件数を示します。

セル D 1                =ROUNDUP(C1/2,0)

この台帳印刷は 入力表と同じ形式で印刷します。A 4 に上半分と下半分ずつの 2 件分を印刷します。セル C 1 の値を 2 で割った値を切り上げると台帳の印刷枚数になります。マクロの始めの部分は一覧表印刷と同様です。

Sub 印刷台帳連続()

' メニュー画面から 台帳 を すべて印刷する。

Dim 組 As Integer

Dim 枚 As Integer

Application.ScreenUpdating = False

画面の動きを表示しない

Sheets("台帳印刷").Select

枚 = Cells(1, 4).Value

If MsgBox(prompt:="準備はいいですか。用紙は " & 枚 & " 枚必要です。準備がよければ" & Chr(13) & "印刷してください。(^.^)。", \_

Title:="O K ! (^.^)", Buttons:=vbYesNo) = vbNo Then

Sheets("M E N U").Select

Application.ScreenUpdating = True

Exit Sub

Else

ActiveSheet.Unprotect

```

Range("D4:E4,D32:E32").Select      確認番号は印刷しない
Range("D32").Activate
Selection.NumberFormatLocal = ";;;";
For 組 = 1 To 枚                    繰り返し開始
Range("E4").Select                  上の段の確認番号
ActiveCell.FormulaR1C1 = 組 * 2 - 1
Range("E4").Select
""""上段設定                        入力表でのデータ読み込みと同様です
Dim 位置 1 As Integer
位置 1 = Sheets("台帳印刷").Cells(4, 5).Value + 3      位置 1 に確認番号 + 3 を代入
'入力範囲クリア
Range("C6:C12,E6:E12,F12,B16:F23").Select              呼出先をきれいにして置く
Selection.ClearContents
'氏名、ふりがな、住所、契約者番号（形式選択。値、行列を入れ替え）
Sheets("台帳").Select                                  1回目
Range(Cells(位置 1, 2), Cells(位置 1, 8)).Select
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("C6").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=True
'生年月日、事業所名、事業所コード、振替銀行、口座（形式選択。値、行列を入れ替え）
Sheets("台帳").Select                                  2回目
Range(Cells(位置 1, 9), Cells(位置 1, 15)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
    Sheets("台帳印刷").Select
Range("E6").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=True
'口座番号
Sheets("台帳").Select                                  3回目
Range(Cells(位置 1, 16), Cells(位置 1, 16)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select

```

Range("F12").Select  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=False  
'契約年月日 (形式選択。値、行列を入れ替え)  
Sheets("台帳").Select 4回目  
Range(Cells(位置 1, 17), Cells(位置 1, 24)).Select  
Application.CutCopyMode = False  
Selection.Copy  
Sheets("台帳印刷").Select  
Range("B16").Select  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True  
'契約金額 (形式選択。値、行列を入れ替え)  
Sheets("台帳").Select 5回目  
ActiveWindow.SmallScroll ToRight:=9  
Range(Cells(位置 1, 25), Cells(位置 1, 32)).Select  
Application.CutCopyMode = False  
Selection.Copy  
Sheets("台帳印刷").Select  
Range("C16").Select  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True  
'変更後金額 (形式選択。値、行列を入れ替え)  
Sheets("台帳").Select 6回目  
Range(Cells(位置 1, 33), Cells(位置 1, 40)).Select  
Application.CutCopyMode = False  
Selection.Copy  
Sheets("台帳印刷").Select  
Range("D16").Select  
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True  
'脱退年月日 (形式選択。値、行列を入れ替え)  
Sheets("台帳").Select 7回目  
Range(Cells(位置 1, 41), Cells(位置 1, 48)).Select  
Application.CutCopyMode = False  
Selection.Copy

```
Sheets("台帳印刷").Select
Range("E16").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=True
```

'備考（形式選択。値、行列を入れ替え）

```
Sheets("台帳").Select 8回目
Range(Cells(位置 1, 49), Cells(位置 1, 56)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("F16").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=True
```

'電話番号 修正追加分

```
Sheets("台帳").Select 9回目
Range(Cells(位置 1, 60), Cells(位置 1, 60)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("F10").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=False
```

```
Range("A1").Select
```

'元に戻す

```
Sheets("台帳").Select
Range("A1").Select
Application.CutCopyMode = False
```

""下段

上段が下に 28 行移動した位置です

セルE 3 2 は確認番号です。計算式が有り、=IF(E4="", 0 ,E4+1) 上の確認番号の次の数値がセットされます。

```
Sheets("台帳印刷").Select
Range("A1").Select
Dim 位置 2 As Integer
位置 2 = Sheets("台帳印刷").Cells(32, 5).Value + 3 位置 2 に確認番号 + 3 を代入
'入力範囲クリア
Range("C34:C40,E34:E40,F40,B44:F51").Select 呼出先をきれいにして置く
```

Selection.ClearContents

'氏名、ふりがな、住所、契約者番号（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("台帳").Select 1回目

Range(Cells(位置 2, 2), Cells(位置 2, 8)).Select

Selection.Copy

Sheets("台帳印刷").Select

Range("C34").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True

'生年月日、事業所名、事業所コード、振替銀行、口座（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("台帳").Select 2回目

Range(Cells(位置 2, 9), Cells(位置 2, 15)).Select

Application.CutCopyMode = False

Selection.Copy

Sheets("台帳印刷").Select

Range("E34").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True

'口座番号

Sheets("台帳").Select 3回目

Range(Cells(位置 2, 16), Cells(位置 2, 16)).Select

Application.CutCopyMode = False

Selection.Copy

Sheets("台帳印刷").Select

Range("F40").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=False

'契約年月日（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("台帳").Select 4回目

Range(Cells(位置 2, 17), Cells(位置 2, 24)).Select

Application.CutCopyMode = False

Selection.Copy

Sheets("台帳印刷").Select

Range("B44").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True

'契約金額（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("台帳").Select **5回目**

ActiveWindow.SmallScroll ToRight:=9

Range(Cells(位置 2, 25), Cells(位置 2, 32)).Select

Application.CutCopyMode = False

Selection.Copy

Sheets("台帳印刷").Select

Range("C44").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True

'変更後金額（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("台帳").Select **6回目**

Range(Cells(位置 2, 33), Cells(位置 2, 40)).Select

Application.CutCopyMode = False

Selection.Copy

Sheets("台帳印刷").Select

Range("D44").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True

'脱退年月日（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("台帳").Select **7回目**

Range(Cells(位置 2, 41), Cells(位置 2, 48)).Select

Application.CutCopyMode = False

Selection.Copy

Sheets("台帳印刷").Select

Range("E44").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
False, Transpose:=True

'備考（形式選択。値、行列を入れ替え）

Sheets("台帳").Select **8回目**

Range(Cells(位置 2, 49), Cells(位置 2, 56)).Select

Application.CutCopyMode = False

Selection.Copy

Sheets("台帳印刷").Select

Range("F44").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_

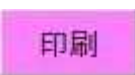
```

        False, Transpose:=True
'電話番号      修正追加分
Sheets("台帳").Select      9回目
Range(Cells(位置 2, 60), Cells(位置 2, 60)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("F38").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
        False, Transpose:=False
Range("A1").Select
'元に戻す
Sheets("台帳").Select
Range("A1").Select
Application.CutCopyMode = False
'元に戻す
Sheets("台帳印刷").Select
Range("A1").Select
ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1      '印刷
Next 組      繰り返し終了
Range("D4:E4,D32:E32").Select      確認番号を表示する
Range("D32").Activate
Selection.NumberFormatLocal = "G/標準"
Cells(4, 5).Value = ""
'入力範囲クリア
Range("C6:C12,E6:E12,F10:F12,B16:F23").Select      上段部分
Selection.ClearContents
'入力範囲クリア
Range("C34:C40,E34:E40,F38:F40,B44:F51").Select      下段部分
Selection.ClearContents
Range("A1").Select
ActiveSheet.Protect
Sheets("M E N U").Select
Application.ScreenUpdating = True      画面の動きを表示する
End If
End Sub

```



「一覧表」にも、印刷ボタンがあります。



このボタンは「一覧表」の表示されている一枚（2件分）だけ印刷する。

```
Private Sub CommandButton2_Click()
```

```
印刷 3
```

```
End Sub
```

```
Sub 印刷 3()
```

```
' 一覧表 から 表示されている一枚だけ印刷する。
```

```
Application.ScreenUpdating = False
```

```
Sheets("一覧表").Select
```

```
Range("A1").Select
```

```
ActiveSheet.Unprotect
```

```
E列とJ列は通し番号でフリガネでの並べ替えでは意味がないから非表示
```

```
If Sheets("台帳").Range("A3").Value = 0 Then
```

```
Range("E5:E54,J5:J54").Select
```

```
Selection.NumberFormatLocal = ";;;"
```

```
Range("A1").Select
```

```
End If
```

```
ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1 '印刷
```

```
If Sheets("台帳").Range("A3").Value = 0 Then
```

```
上の青と対になり、戻す処理
```

```
Range("E5:E54,J5:J54").Select
```

```
Selection.NumberFormatLocal = "G/標準"
```

```
Range("A1").Select
```

```
End If
```

```
ActiveSheet.Protect
```

```
Range("A1").Select
```

```
Application.ScreenUpdating = True
```

```
End Sub
```

個別の印刷をする「台帳印刷」

セルE 2に確認番号を入力し、呼び出します。

1	A	B	C	D	E	F	G	H
2	MENUへ					呼出	印刷	クリア
3								
4	小規模企業共済台帳		確認番号					
5								
6	氏名		生年月日		65歳到達時は			
7								
8	フリガナ(全角)		事業所名					
9								
10	住所		事業所コード、電話					
11								
12	契約者番号		振替銀行、口座					
13								
14	共済契約年月日 (取扱年月日)		掛金月額 (増減額)	変更後の 掛金月額	脱退・解約年月日	備考		
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23	メモ							
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32	小規模企業共済台帳		確認番号					
33								
34	氏名		生年月日		65歳到達時は			
35								
36	フリガナ(全角)		事業所名					
37								
38	住所		事業所コード、電話					
39								
40	契約者番号		振替銀行、口座					
41								
42	共済契約年月日 (取扱年月日)		掛金月額 (増減額)	変更後の 掛金月額	脱退・解約年月日	備考		
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51	メモ							
52								

画面で色が付いていますが、印刷物は白黒印刷にします。

ページ設定のダイアログのシートの印刷で白黒印刷のチェックボックスをオンにします。

呼出

このボタンは「台帳印刷」で一画面のデータを「台帳」から呼び出すものです。

```
Private Sub CommandButton3_Click()
```

```
呼出台帳個別
```

```
End Sub
```

印刷台帳連続と同様です。こちらを先に作成してから、繰り返し部分を付け加えて、印刷台帳連続に書き替えたというのが実際の作業です。

```
Sub 呼出台帳個別()
```

```
' 台帳印刷 シート で 一画面分のデータを呼び出す
```

```
Application.ScreenUpdating = False
```

```
Sheets("台帳印刷").Select
```

```
Range("A1").Select
```

```
ActiveSheet.Unprotect
```

```
""上段設定
```

```
Dim 位置 1 As Integer
```

```
位置 1 = Sheets("台帳印刷").Cells(4, 5).Value + 3
```

```
'入力範囲クリア
```

```
Range("C6:C12,E6:E12,F12,B16:F23").Select
```

```
Selection.ClearContents
```

```
'氏名、ふりがな、住所、契約者番号（形式選択。値、行列を入れ替え）
```

```
Sheets("台帳").Select
```

```
Range(Cells(位置 1, 2), Cells(位置 1, 8)).Select
```

```
Selection.Copy
```

```
Sheets("台帳印刷").Select
```

```
Range("C6").Select
```

```
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _  
False, Transpose:=True
```

```
'生年月日、事業所名、事業所コード、振替銀行、口座（形式選択。値、行列を入れ替え）
```

```
Sheets("台帳").Select
```

```
Range(Cells(位置 1, 9), Cells(位置 1, 15)).Select
```

```
Application.CutCopyMode = False
```

```
Selection.Copy
```

```
Sheets("台帳印刷").Select
```

```
Range("E6").Select
```

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
     False, Transpose:=True  
 '口座番号  
 Sheets("台帳").Select  
 Range(Cells(位置 1, 16), Cells(位置 1, 16)).Select  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("台帳印刷").Select  
 Range("F12").Select  
 Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
     False, Transpose:=False  
 '契約年月日（形式選択。値、行列を入れ替え）  
 Sheets("台帳").Select  
 Range(Cells(位置 1, 17), Cells(位置 1, 24)).Select  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("台帳印刷").Select  
 Range("B16").Select  
 Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
     False, Transpose:=True  
 '契約金額（形式選択。値、行列を入れ替え）  
 Sheets("台帳").Select  
 ActiveWindow.SmallScroll ToRight:=9  
 Range(Cells(位置 1, 25), Cells(位置 1, 32)).Select  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("台帳印刷").Select  
 Range("C16").Select  
 Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
     False, Transpose:=True  
 '変更後金額（形式選択。値、行列を入れ替え）  
 Sheets("台帳").Select  
 Range(Cells(位置 1, 33), Cells(位置 1, 40)).Select  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("台帳印刷").Select

```

Range("D16").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=True
'脱退年月日（形式選択。値、行列を入れ替え）
Sheets("台帳").Select
Range(Cells(位置 1, 41), Cells(位置 1, 48)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("E16").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=True
'備考（形式選択。値、行列を入れ替え）
Sheets("台帳").Select
Range(Cells(位置 1, 49), Cells(位置 1, 56)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("F16").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=True
'電話番号      修正追加分
Sheets("台帳").Select
Range(Cells(位置 1, 60), Cells(位置 1, 60)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("F10").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=False
Range("A1").Select
'元に戻す
Sheets("台帳").Select
Range("A1").Select
Application.CutCopyMode = False
""""下段

```

```

Sheets("台帳印刷").Select
Range("A1").Select
Dim 位置 2 As Integer
位置 2 = Sheets("台帳印刷").Cells(32, 5).Value + 3
'入力範囲クリア
Range("C34:C40,E34:E40,F40,B44:F51").Select
Selection.ClearContents
'氏名、ふりがな、住所、契約者番号（形式選択。値、行列を入れ替え）
Sheets("台帳").Select
Range(Cells(位置 2, 2), Cells(位置 2, 8)).Select
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("C34").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=True
'生年月日、事業所名、事業所コード、振替銀行、口座（形式選択。値、行列を入れ替え）
Sheets("台帳").Select
Range(Cells(位置 2, 9), Cells(位置 2, 15)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("E34").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=True
'口座番号
Sheets("台帳").Select
Range(Cells(位置 2, 16), Cells(位置 2, 16)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("F40").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=False
'契約年月日（形式選択。値、行列を入れ替え）
Sheets("台帳").Select
Range(Cells(位置 2, 17), Cells(位置 2, 24)).Select

```

Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("台帳印刷").Select  
 Range("B44").Select  
 Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
     False, Transpose:=True  
 '契約金額（形式選択。値、行列を入れ替え）  
 Sheets("台帳").Select  
 ActiveWindow.SmallScroll ToRight:=9  
 Range(Cells(位置 2, 25), Cells(位置 2, 32)).Select  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("台帳印刷").Select  
 Range("C44").Select  
 Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
     False, Transpose:=True  
 '変更後金額（形式選択。値、行列を入れ替え）  
 Sheets("台帳").Select  
 Range(Cells(位置 2, 33), Cells(位置 2, 40)).Select  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("台帳印刷").Select  
 Range("D44").Select  
 Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
     False, Transpose:=True  
 '脱退年月日（形式選択。値、行列を入れ替え）  
 Sheets("台帳").Select  
 Range(Cells(位置 2, 41), Cells(位置 2, 48)).Select  
 Application.CutCopyMode = False  
 Selection.Copy  
 Sheets("台帳印刷").Select  
 Range("E44").Select  
 Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= \_  
     False, Transpose:=True  
 '備考（形式選択。値、行列を入れ替え）  
 Sheets("台帳").Select

```

Range(Cells(位置 2, 49), Cells(位置 2, 56)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("F44").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=True
'電話番号      修正追加分
Sheets("台帳").Select
Range(Cells(位置 2, 60), Cells(位置 2, 60)).Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Sheets("台帳印刷").Select
Range("F38").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=False
Range("A1").Select
'元に戻す          データ呼出し後の整理です
Sheets("台帳").Select
Range("A1").Select
Application.CutCopyMode = False
'元に戻す
Sheets("台帳印刷").Select
Range("A1").Select
ActiveSheet.Protect
Application.ScreenUpdating = True    動きを表示する
End Sub

```

呼び出したあとは印刷です。



このボタンは「台帳印刷」で一画面分のデータを印刷するものです。

```

Private Sub CommandButton2_Click()
    印刷 2
End Sub

```



Sub 印刷 2()

```
' 台帳印刷 シート で 一画面分のデータを印刷する。
'      印刷後はデータを消去
Range("A1").Select
ActiveSheet.Unprotect
Range("D4:E4,D32:E32").Select      確認番号を非表示にし、印刷しない
Range("D32").Activate
Selection.NumberFormatLocal = ";;;
ActiveSheet.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1      '印刷
Range("D4:E4,D32:E32").Select      印刷のあとは確認番号を表示する、
Range("D32").Activate
Selection.NumberFormatLocal = "G/標準"
Cells(4, 5).Value = ""      入力したセル E 4 の数値を消去
'入力範囲クリア      データの消去です
Range("C6:C12,E6:E12,F10:F12,B16:F23").Select      上段部分
Selection.ClearContents
'入力範囲クリア      データの消去です
Range("C34:C40,E34:E40,F38:F40,B44:F51").Select      下段部分
Selection.ClearContents
Range("A1").Select
ActiveSheet.Protect
End Sub
```

クリア

このボタンは「台帳印刷」で 一画面分のデータを消去します。

```
Private Sub CommandButton4_Click()
```

```
クリア 3
```

```
End Sub
```

Sub クリア 3()

```
'台帳印刷 シート で 一画面分のデータを消去する。
Range("A1").Select
ActiveSheet.Unprotect
Cells(4, 5).Value = ""
'入力範囲クリア
Range("C6:C12,E6:E12,F10:F12,B16:F23").Select
```

```

Selection.ClearContents
'入力範囲クリア
Range("C34:C40,E34:E40,F38:F40,B44:F51").Select
Selection.ClearContents
Range("A1").Select
ActiveSheet.Protect
Range("A1").Select
End Sub

```

最後に全データの消去。MENU画面にあります。  
 例示のデータを消去してこのファイルを利用するためのものです。



```

Sub 全消去()
'マカ記録日：2003/8/5   ムザ -名：山川町商工会
  If MsgBox(prompt:="全データを消去します。", _
    Title:="準備確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
    MsgBox "B4 から BD1003 までのデータが消去されます。"
  If MsgBox(prompt:="くどいですが、もう一度確認します。本当に消去してもいい
    ですか。", _
    Title:="もとはは戻れませんよ。", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
Application.ScreenUpdating = False
  Sheets("台帳").Select
  Range("A 1").Select
  ActiveSheet.Unprotect
  Range("B4:BD1003").Select
  Selection.ClearContents
  Range("BH4:BI1003").Select
  Selection.ClearContents
  Range("A1").Select
  ActiveSheet.Protect
  Sheets("MENU").Select
  Range("A1").Select
  Application.ScreenUpdating = True

```

End If

End If

End Sub

このファイルの作成で INDIRECT 関数 の使い方が分かりました。  
経理ファイルの帳簿印刷などが、この方式で綺麗に印刷できるようになりました。

以上で終了です。

平成21年 3月 16日

小林誠一郎